

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2018年5月29日

国内株式市場は、3月下旬以降反発に転じ、その後も堅調な展開が続いています。当レポートでは、足元の投資環境をどう捉え、当ファンドでどのような対応を行っているのかについて、ご案内いたします。

1. 投資環境と今後の見通し

1-1. 投資環境 ～ 3月下旬以降、株価反発

国内株式市場は、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが加速するとの観測が高まるなか、米国長期金利が上昇し、米国株式市場が急落したことを受けて、2月上旬から3月下旬にかけて大きく下落しました。その後は反発に転じ、足元にかけても堅調に推移しております(図表1)。その要因として、主に以下の4点が考えられます。

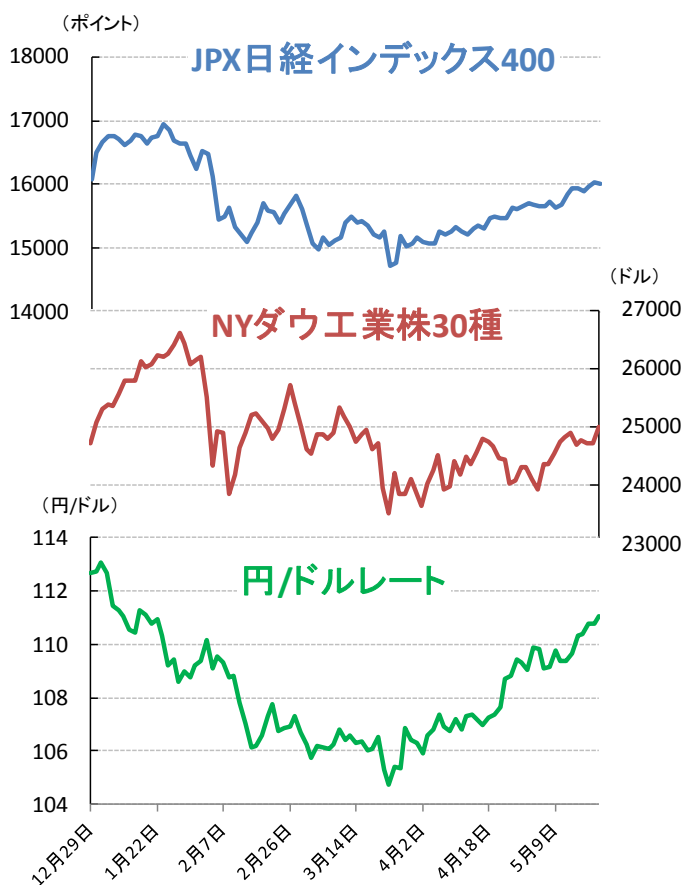
- ① 米国長期金利の上昇は株価に織り込まれつつある一方、世界的な景気拡大が続くとの期待から、海外株式市場が底堅く推移していること
- ② 北朝鮮と韓国の首脳会談が開催されるなど、地政学リスクが後退しつつあること
- ③ 地政学リスクの後退に加え、米国長期金利が上昇し日米金利差が拡大したことなどから円安ドル高が進行していること
- ④ 円安ドル高の進行などから、日本企業の業績拡大に対する期待が高まったこと

1-2. 今後の見通し ～ 堅調な展開を想定

IMF(国際通貨基金)による2018年および2019年の世界経済の成長率見通しに見られるように(図表2)、世界的な景気拡大が続くと予想されることに加え、為替市場において円安ドル高が進行していることなどから、今後の日本企業の業績は堅調に推移すると考えられます。また、株価バリュエーションは割安と考えられるほか、下値では日銀の上場投資信託(ETF)買入れや上場企業による自社株買いなど需給面でも良好な環境が続くと考えられます。こうしたことから、国内株式市場は当面堅調に推移すると考えております。

当面のリスク要因としては、米国長期金利の急騰によるインフレリスクの再燃、米中通商摩擦に関わる不透明感の高まりなどが挙げられます。

図表1 市場動向



(期間)2017年12月29日～2018年5月21日(日次)
(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

図表2 IMFの経済成長率見通し

	2017年	2018年			2019年		
	実績	1月時点	4月時点	修正幅	1月時点	4月時点	修正幅
世界全体	3.8%	3.9%	3.9%	+0.0%	3.9%	3.9%	+0.0%
米国	2.3%	2.7%	2.9%	+0.2%	2.5%	2.7%	+0.2%
ユーロ圏	2.3%	2.2%	2.4%	+0.2%	2.0%	2.0%	+0.0%
日本	1.7%	1.2%	1.2%	+0.0%	0.9%	0.9%	+0.0%
中国	6.9%	6.6%	6.6%	+0.0%	6.4%	6.4%	+0.0%

(出所)IMFのWorld Economic Outlook より岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2. 当ファンドにおける対応

国内企業を取り巻く事業環境が良好に推移すると予想される中、当ファンドでは、業績に加え、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)が、中期的に向上すると見込まれる銘柄へ積極的に投資を行っております。

5月に入ってから、企業が発表した2018年1-3月期の決算内容および2018年度の業績見通しなどを精査し、中期的に業績拡大余地が大きいと見られる銘柄や、今後の業績改善が期待される銘柄などの組入比率を引き上げました。一方、今後の増益率鈍化が懸念される銘柄や好業績が株価に織り込まれたと判断した銘柄の組入比率を引き下げました。

新潟本社銘柄では、電子機器向け電子材料の成長等を通じたROEの向上が見込まれる有沢製作所や、原材料価格の上昇などから2018年3月期は減益となったものの、中期的には海外事業の収益性改善や国内米菓の販売持ち直しによる業績回復からROEの改善が期待される亀田製菓などの組入比率を引き上げました。

JPX日経インデックス400構成銘柄では、円安ドル高の進行や原価低減による収益性の改善などからROEの向上が期待されるトヨタ自動車や、衣料品を中心としたファッション関連品のネット通信販売サイト「ZOZOTOWN」の高い競争力を活かし、衣料品EC(電子商取引)市場におけるシェア上昇等を通じた中期的な利益成長が見込まれるスタートトゥデイなどを新規に組み入れました。一方、当面の好業績が株価に織り込まれたと判断したニトリホールディングスや、ペーパーレス化に伴うプリンター事業の伸び悩みなどから、業績拡大余地が限定的と判断したキヤノンなどを売却しました。

今後も業績およびROEの改善が続くと見込まれる銘柄へ選別投資を行い、パフォーマンスの改善に努めてまいります。

5月に組入比率が上昇した主な銘柄

【新潟本社銘柄】

銘柄名	業種
有沢製作所	化学
亀田製菓	食料品
太陽工機	機械
田辺工業	建設業
アークランドサカモト	小売業

【JPX日経インデックス400構成銘柄】

銘柄名	業種
* トヨタ自動車	輸送用機器
ファーストリテイリング	小売業
* 松井証券	証券、商品先物取引業
* イオン	小売業
* 芙蓉総合リース	その他金融業

(期間)2018年5月1日～2018年5月21日

(注)JPX日経インデックス400構成銘柄は5月以降に組入比率が上昇した上位5銘柄

*は新規に組み入れた銘柄

※本資料における銘柄情報は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

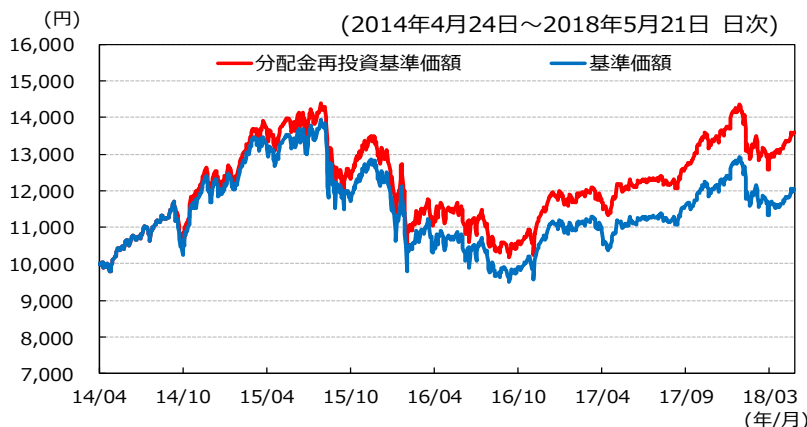
■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2018年5月21日)

■ 設定来の基準価額の推移



- (注) 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
(注) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
(注) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ 組入上位10業種

	業種名	組入比率
1	電気機器	10.7%
2	小売業	10.3%
3	輸送用機器	8.2%
4	銀行業	8.0%
5	卸売業	7.2%
6	食料品	6.8%
7	化学	5.9%
8	建設業	5.3%
9	情報・通信業	5.2%
10	機械	5.1%

■ 組入上位銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

	銘柄名	組入比率
1	日本電産	3.6%
2	アサヒグループホールディングス	2.8%
3	三井物産	2.8%
4	トヨタ自動車	2.6%
5	ファーストリテイリング	2.5%
6	日本電信電話	2.5%
7	テルモ	2.5%
8	T D K	2.5%
9	資生堂	2.4%
10	デンソー	2.3%

新潟本社銘柄

	銘柄名	組入比率
1	北越工業	2.0%
2	北越銀行	1.9%
3	遠藤製作所	1.8%
4	コナ	1.8%
5	ブルボン	1.6%
6	アークランドサカモト	1.6%
7	有沢製作所	1.5%
8	田辺工業	1.3%
9	ツインバード工業	1.3%
10	太陽工機	1.1%

※組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、JPX日経インデックス400の構成銘柄(銘柄入替時の予定銘柄を含みます。)および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
- 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に着目します。
- 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅に乖離する場合があります。
- 新潟県関連企業とは、新潟県に本社(本店)を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
- 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げる場合があります。
- 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金を支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。

■ 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時

換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■ 保有期間中

運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）

■ その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)

■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会

（金融商品取引業者）

岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
--------------	-----------------	---	--	--	--

<本資料に関するお問い合わせ先>

岡三アセットマネジメント株式会社

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）